

報道関係者各位

## アーカスプロジェクト 2016 いばらき | ARCUS Project 2016 IBARAKI

2016 年度アーティスト・イン・レジデンスプログラム 招聘アーティスト決定のお知らせ  
事前告知及びご取材協力のお願い

### 2016 年度招聘アーティスト | Resident Artist 2016



エルネスト・バウティスタ  
(エルサルバドル)



イェン・ノー  
(韓国)



ガン・シオン・キン  
(マレーシア)

今年で 23 年目となりますアーティスト・イン・レジデンスプログラムの招聘<sup>しょうへい</sup>アーティストが決定しました。本年度は、ゲストキュレーターの服部浩之氏、アーカスプロジェクトアドヴァイザーの南條史生氏による審査のもと、過去最多の 656 件の応募の中から 3 名のアーティストが選ばれました。

エルサルバドル、韓国、マレーシア出身の 3 名のアーティストは、8 月 25 日から守谷市を拠点に 110 日間滞在し、もりや学びの里にあるアーカススタジオで制作活動を行います。

今年度のアーティスト・イン・レジデンスプログラム開催にあたり、ぜひとも事前告知、ご取材にご協力賜りますよう宜しくお願いいたします。

【招聘期間】 平成 28 年 8 月 25 日(木)～12 月 12 日(月) 計 110 日間

【歓迎レセプション】 平成 28 年 9 月 2 日(金)18:00～19:30(予定)

会場：国際交流研修センター(茨城県守谷市緑 2-1-1)

【滞在制作成果発表(オープスタジオ)】

期間：平成 28 年 11 月 11 日(金)～27 日(日) ※14 日、21 日(月)を除く期間を予定

会場：アーカススタジオ(茨城県守谷市板戸井 2418 もりや学びの里内)

◎上記スケジュールはあくまで予定ですので今後変更が生じる場合があります。予めご了承ください。

### アーカスプロジェクトとは…

茨城県を主催に 1994 年に始動した「芸術を通じた地域づくり」を推進する芸術文化事業。

守谷市を拠点に、国際的に活動するアーティストが滞在制作を行うアーティスト・イン・レジデンスプログラムと、地域の方々が主体となって関われる場づくりやワークショップ等の地域プログラムを展開している。なお、これまでアーカスプロジェクトでは 94 名のアーティストを招聘しており、今年 9 月から開催される KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭には、テア・マキパーなど 10 名余の歴代招聘アーティストが参加を予定。

【<sup>しょうかい</sup>招聘アーティストプロフィール】

## エルネスト・バウティスタ | Ernesto Bautista

エルサルバドル出身 / 29歳 / 男性 / 1987年生まれ



NEW PROMISS | intervention project, 2014-Ongoing | Photo: The Fire Theory

1987年エルサルバドル、サンタ・アナ生まれ、サンサルバドル在住。主な展覧会に「LITTLE STORY OF DEMOCRATIZATION OF FEAR」(ホンジュラス人類博物館, テグシガルパ, ホンジュラス, 2015)、「BIENNIAL OF THE FRONTIERS」(タマウリパス現代美術館, タマウリパス, メキシコ, 2014)、「X」(エルサルバドル美術館, サンサルバドル, エルサルバドル, 2014)などがある。

アメリカのサンタフェ・アート・インスティテュートをはじめ、中国、カナダ、コロンビア、メキシコなど世界各地でアーティスト・イン・レジデンスを経験している。治安が不安定なエルサルバドルに暮らす彼自身の背景に呼応するかたちで、身近にある暴力や死、争いなどを強く意識し、人間の存在や生の本質的意味を探求する。血や銃弾、炎、人骨、刃物など、死や暴力を直接想起させるものを素材とし、社会や政治の諸問題を主題に、彫刻やインスタレーション、映像作品を制作している。

滞在中は、生きている人と亡くなってしまった人の相互の記憶にまつわるプロジェクトを地域住民へのインタビューなどを通じて実施する予定。

## イェン・ノー | Yen Noh

韓国出身 / 32 歳 / 女性 / 1983 年生まれ



A\*ā | Live-speaking performance (3-channel video, 1-channel audio and text installation), 2016 | Photo : Lea Titz

1983 年韓国、テグ生まれ、オーストリア、ウィーン在住。2016 年ウィーン応用美術大学にてトランスアーツ修士課程修了。主な活動として「To bite the tongue. Swallow. Deep. Deeper」(21 世紀館, ウィーン, オーストリア, 2016)、「The Essence 15」(キュンストラーハウス, ウィーン, オーストリア, 2015)、「Voice Over Three, Part I: The First Letter」(ハイリゲンクロイツァーホーフ, ウィーン, オーストリア, 2014)などがある。また 2013 年に Glogau AIR (ドイツ)のレジデンスプログラムに参加している。

アジア人として欧州に暮らすノーは、言語や翻訳を主題に映像やインスタレーション、レクチャー・パフォーマンスなどの作品を発表する。西欧世界で編まれるテキストがアジアなど非西欧圏へと輸入される際に、翻訳・通訳を通じて、ときに誤読や誤解なども生じるなかで、如何に解釈され、近代化にどのような影響を与えたかを考察している。近年はヴァルター・ベンヤミンによる『翻訳者の使命』というドイツ語のテキストをモチーフにして、翻訳することを介して、ポストコロニアルの諸問題の再考を試みる。

滞在中は、『翻訳者の使命』というテキストの原文、日本語への翻訳文、韓国語の翻訳文の 3 バージョンの比較考察を通じて、日本と韓国の両国の歴史的・文化的関係、また西洋とのそれぞれの関係、3 者の関係について調査する予定。

## ガン・シオン・キン | Gan Siong King

マレーシア出身 / 41 歳 / 男性 / 1975 年生まれ



**The Horror The Horror** (Installation view) | Mixed media, 2015 | Photo : Wee Seng

1975 年マレーシア、ジョホール生まれ、クアラルンプール在住。1996 年マレーシア芸術学院油画専攻修了。主な展覧会に「The Horror The Horror」(Art Printing Works Warehouse, クアラルンプール, マレーシア, 2016)、「Looking Ahead」(フェルガナアートスペース, ペナン, マレーシア, 2015)、「The Pleasures of Odds and Ends」(FEEKA, クアラルンプール, マレーシア, 2014)、「Contemporary Rhetorics」(ヴァレンタイン・ウィリー・ファインアーツ, クアラルンプール, マレーシア, 2010)がある。

マレーシアを中心に作品制作と発表を続ける。作品において「遊び」の感覚を大切にし、笑いやユーモア、喜びを探求する。しかし、その作品は感覚的というより、むしろコンセプチュアルで絵画の根源的構造などを探求するものだ。近作では、展覧会制作そのものをひとつの作品と定義し、ひとり的人物をモデルにした 12 枚の同じポートレイトを描き、各絵に異なったタイトルを添えることで、人のアイデンティティと文脈の関係やその不確かさを思考するセルフキュレーションによるプロジェクトを実施した。

滞在中は、守谷市在住の日本人アーティストひとりの生活や視点に着目し、その日本人アーティストの視点を通して反映される市の社会状況を記録する映像作品を制作する予定。

## 【ゲストキュレーター2016の紹介】

### 服部 浩之 / はっとり ひろゆき インディペンデント・キュレーター

1978年愛知県生まれ。アジア各地を中心にインディペンデント・キュレーターとして活動中。2006年早稲田大学大学院修了(建築学)。2009年から2016年まで青森公立大学国際芸術センター青森[ACAC]学芸員。「オルタナティブなあり方」を意識の根底に据え、山口、ハノイ、青森でアートをスペースを展開するなど、建築的思考をベースに場をつくり日常生活と公共空間の創造的な関係を探求している。

近年の企画に、十和田奥入瀬芸術祭「SURVIVE ~この惑星の、時間旅行へ」(十和田市現代美術館, 奥入瀬地域, 2013年)、「Media/Art Kitchen ~Reality Distortion Field」(インドネシア国立美術館, MAP KL, アヤラ美術館, バンコク芸術文化センター[BACC], 国際芸術センター青森[ACAC]ほか, 主催: 国際交流基金ほか, 2013年~2014年)がある。あいちトリエンナーレ2016キュレーター。

### ゲストキュレーターとは

アークスプロジェクトの基幹事業であるレジデンスプログラムにおいて、招聘アーティストに対し専門的見地からのアドバイスを行う。それと同時に、地域住民に対し、招聘アーティストの制作等に関する解説を行うため、専門職であるキュレーターに当該業務を委任している。

※キュレーター: 展覧会の企画やアーティスト活動の研究を行う専門職

## 【参考データ】

### 公募詳細

- ・ 応募件数: 656件、89カ国・地域 (個人の応募618件、ユニットまたはグループでの応募 38組)
- ・ 募集期間: 平成28年3月1日(火)~4月30日(土)
- ・ 募集・告知: ホームページへの掲載、国内外美術関係者・アーティストへのメールマガジンによる通知、世界各国の類似事業を紹介するホームページへの掲載など。

### ■ 公募に対する応募件数の推移 (2003~2016)

年	2003 H15	2004 H16	2005 H17	2006 H18	2007 H19	2008 H20	2009 H21	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28
国数	37	45	48	51	60	63	57	70	55	63	64	78	81	89
件数	125	180	246	281	304	350	401	426	174	337	344	640	599	656

### お問い合わせ先

◎アークススタジオ (火-土 10:00 -18:00)

〒302-0101 茨城県守谷市板戸井 2418 もりや学びの里内 担当 | 朝重(ともしげ)

TEL | 0297-46-2600 E-mail | arcus@arcus-project.com Web | www.arcus-project.com

◎アークスプロジェクト実行委員会事務局

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6 茨城県企画部地域計画課 担当 | 大藪

TEL | 029-301-2735 Fax 029-301-2739